

## 3-④-② こんな町 めざそう！ どんなこと できそう？

■対象：地域住民 ■人数：20人 ■時間：80分程度 ■手法：カードワーク+ブレインストーミング

学習のねらい 「住みよい町とはどんな町か」を話し合うことで、“めざす地域像”について考えることができる。

時間	学習の流れ	留意点	準備物
	<p>【はじめに】</p> <p>前回は引き続き、この町を住みよい町にしていくために、今回は、〇年後、この町がどうなっていてほしいか考えていきます。それでは、その前に少し心と体をほぐしましょう。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① 自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前</li> <li>・前回の感想</li> <li>・この町のおすすめスポット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回とはちがう4人のグループをつくる(アイスブレイクでグループ分けをしてもよい)。</li> <li>・その後、前回の想起もかねて、自己紹介を行う。</li> </ul>	
60分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>① “めざす地域像”を、1枚に1つずつ、なるべくたくさんカードに書く [7分]</p> <p>② 書いたカードをグループで集め、シャッフルして中央におき、カードを引いて、選択する [5分]</p> <p>③ 最後に残したカードについて、グループで思いを紹介し合う [8分]</p> <p>④ グループの代表が、グループで選んだカードを全体に紹介する [10分]</p> <p>⑤ 各グループで選んだカードをもとに、全体共通の“めざす地域像”を考える [30分]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の確認と、今回のねらい、ワークの流れを確認する。</li> <li>・「このまちを住みよい町にしていくために、〇年後、この町がどうなっていてほしいか」について考えるように伝える。</li> <li>・「〇年後」は、「3年後」「5年後」「10年後」等、参加者とともに決めてもよい。</li> <li>・全員が紹介後、選ばなかったカードも紹介するように伝える。</li> <li>・各グループで選んだカードをホワイトボードに見える化する。</li> <li>・意見を混ぜ合わせて1つの“めざす地域像”にしてもよい。</li> <li>・全ての意見を大切に扱い、迷う場合は優先順位をつけることを提案する。</li> <li>・決定後、全体で“めざす地域像”を確認する。</li> </ul>	<p>カード サインペン</p> <p>ホワイトボード ホワイトボード マーカー (黒・赤・青)</p>
10分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>① 「今日の感想」をワークシートに書く</p> <p>② グループで発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に広げたいことは、積極的に取り上げる。</li> </ul>	ワークシート
	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか。今回は、「この町を住みよい町にしていくために、〇年後、この町がどうなっていてほしいか」について考えました。すてきな“めざす地域像”をたくさん聞かせていただきました。次回は、この“めざす地域像”に近づくために、自分たちで何ができるのか、みなさんとアイデアを出し合っていきたいと思います。</p>		